

新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：東川 直正

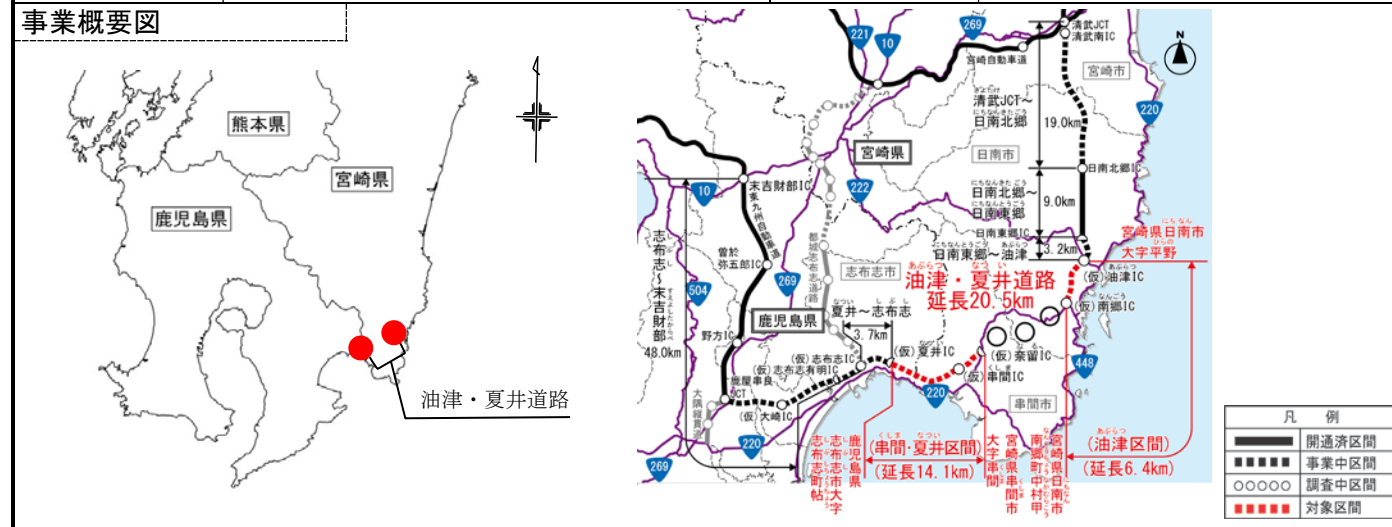
事業の概要

事業名	一般国道220号 (東九州自動車道) 油津・夏井道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	油津区間：宮崎県日南市大字平野～日南市南郷町中村甲 串間・夏井区間：宮崎県串間市大字串間～鹿児島県志布志市大字志布志町帖	延長	20.5km		

事業概要
東九州自動車道は、福岡県北九州市を起点とし、大分県・宮崎県を經由し、鹿児島県鹿児島市に至る延長約436kmの高規格幹線道路である。そのうち、宮崎県日南市～鹿児島県志布志市は、東九州自動車道で唯一の未事業化区間となっている。平成28年1月には、宮崎県日南市～鹿児島県志布志市約40kmを都市計画決定し、平成28年度には日南・志布志道路（日南東郷～油津、夏井～志布志）6.9kmを事業化。

事業の目的、必要性
本道路は、南海トラフ地震時の津波浸水域を回避し、災害時の救援活動等にも機能する信頼性の高い高速ネットワークを形成するとともに、宮崎県内有数の木材産地と物流拠点の志布志港を結ぶ重要な物流道路を形成し、地域の主要産業を支援する。また、油津港と連携した広域周遊観光ルートを形成し、観光振興を支援する。

全体事業費	約750億円	計画交通量	約4,700台/日 ～約13,100台/日
-------	--------	-------	--------------------------



関係する地方公共団体等の意見

【宮崎県知事】
新規事業採択時評価に係る「一般国道220号（東九州自動車道）油津・夏井道路」事業の予算化について同意いたします。当該道路は、人やモノの交流を促進し、本県の経済活動、物流、企業誘致、観光、医療、防災などあらゆる分野で可能性が大きく広がる重要な路線であるとともに、今後想定される南海トラフ巨大地震などの大規模災害時には、「命の道」として大変重要な役割を担う路線です。
高速道路はネットワークとしてつながってこそ、その真価が最大限に発揮されるものです。引き続き、事業が円滑に推進されるよう、沿線自治体と連携し、事業中区間も含め、工事実施に伴い発生する建設発生土の仮置場の確保や土砂処分について協力いたします。また、（仮称）串間ICへのアクセス道路となる県道今別府串間線の交差点改良や、県内の東九州道の無料区間において、IC近傍への道の駅等休憩施設の設置に向け、国交省、関係市とともに検討を進めるなど対応いたします。さらに、当該道路整備に伴う、付け替え道路（跨道橋や横断ボックスなど）の集約化に向け、本県としても積極的に関与し、沿線市町村と地元調整を行ってまいります。
つきましては、平成31年度新規事業としての予算化に特段の配慮をお願いします。

【鹿児島県知事】
新規事業採択時評価に係る「一般国道220号（東九州自動車道）油津・夏井道路」事業の予算化について同意いたします。東九州自動車道は、国内外との物流拠点として整備が進む志布志港や大隅地域から宮崎県や北部九州への物流の効率化、流通拡大による産業の活性化、さらには日南海岸国定公園に指定され、素晴らしい景観で知られるダグリ岬などの観光振興の促進を図る上で、必要不可欠な道路であり、また、南海トラフ地震など巨大津波発生時における防災機能確保の面においても、大きな役割を担うことが期待される道路でもあります。
鹿児島県としては、東九州自動車道は、地域の企業立地を促進するなどのストック効果をもたらす重要な道路であると強く認識しているところであり、宮崎県奈留から当県夏井までの区間の事業化のあかつきには、当県が主体となって、用地取得への協力や埋蔵文化財調査、土砂処分や付替道路集約化に関する調整など、事業が円滑に推進されるよう、他の道路直轄事業を含め、最大限協力してまいりますので、是非とも平成31年度の新規事業として予算化していただきますようお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件	・費用対便益：便益が費用を上回っている。 ・手続きの完了：都市計画決定手続き完了（H28.1）
-----------	--

事業評価結果

費用対便益分析	B/C	2.4 (1.1)	総費用	1,162億円	総便益	2,791億円	基準年	平成30年
			事業費：1,053億円 維持管理費：109億円	走行時間短縮便益：2,155億円 走行経費減少便益：464億円 交通事故減少便益：172億円				
感度分析の結果	交通量変動	B/C=2.2 (交通量 -10%)	B/C=2.6 (交通量 +10%)					
	事業費変動	B/C=2.2 (事業費変動 +10%)	B/C=2.6 (事業費変動 -10%)					
	事業期間変動	B/C=2.2 (事業期間変動 +20%)	B/C=2.5 (事業期間変動 -20%)					

事業の影響	評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—
事故対策		—	・注目すべき影響はない
歩行空間		—	・注目すべき影響はない
社会全体への影響	住民生活	—	・注目すべき影響はない
	地域経済	◎	・現道の道路線形が厳しい箇所を回避することにより、走行性、安全性が向上し、物流効率化による地域産業を支援 [現道課題箇所の回避] 平面線形が厳しい箇所：現況 33箇所 → 整備後 0箇所 縦断線形が厳しい箇所：現況 7箇所 → 整備後 0箇所 ・油津港から周辺観光地への移動時間短縮等により、広域周遊観光ルートが形成され、観光振興支援 [油津港～イルカランドの所要時間] 現況 56分 → 整備後 41分 (15分短縮)
	災害	◎	・現道の津波浸水区間や防災上危険な箇所を回避し、災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い高速ネットワークを形成。 [防災機能の向上] 津波浸水区間延長：現況 9.8km → 整備後 0km 防災点検要対策箇所：現況 4箇所 → 整備後 0箇所
	環境	—	・注目すべき影響はない
	地域社会	—	・注目すべき影響はない
事業実施環境	○	・宮崎県・鹿児島県両知事より、油津～夏井間の早期事業化を要望	

採択の理由

費用便益比が2.4(1.1)と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。油津・夏井道路の開通により、南海トラフ地震時の津波浸水域を回避し、災害時の救援活動等にも機能する信頼性の高い高速ネットワークを形成するとともに、宮崎県内有数の木材産地と物流拠点の志布志港を結ぶ重要な物流道路を形成し、地域の主要産業を支援する。また、油津港と連携した広域周遊観光ルートを形成し、観光振興を支援するなど、事業の必要性・効果は高いと判断できる。以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※B/Cの上段の値は清武JCT～志布志IC（仮称）を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果

新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性	
<p>本道路は、南海トラフ地震時の津波浸水域を回避し、災害時の救援活動等にも機能する信頼性の高い高速ネットワークを形成するとともに、宮崎県内有数の木材産地と物流拠点の志布志港を結ぶ重要な物流道路を形成し、地域の主要産業を支援する。また、油津港と連携した広域周遊観光ルートを形成し、観光振興を支援する。</p>	
評価項目	地域の課題
防災	<ul style="list-style-type: none"> 当該沿線地域では、南海トラフ地震による最大津波高さが、九州で最大の17mと想定されており、並行する現道の国道220号は、津波により約4割が浸水。更には、防災上危険な箇所も存在するなど、被災リスクが高い。 直近では、平成30年9月の台風25号の影響により、串間市で越波による道路冠水で通行止めになるなど、災害に対し非常に脆弱。
産業	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎県の杉丸太生産量は、27年連続日本一で、そのうち、県の代表ブランド「飢肥杉」は日南市や串間市が主な産地であり、主に志布志港から輸出。 また、志布志港では、原木輸出量が国内シェアの3割を誇る日本一の木材出荷拠点であり、地域の産業にとって重要な物流拠点。 しかし、その主な輸送経路である国道220号は、道路線形が厳しい箇所が多く存在し、輸送効率に影響するなど、走行性、安全性に課題。
観光	<ul style="list-style-type: none"> 油津港へ寄港するクルーズ船は、近年、大幅に増加傾向で、また、油津港では世界最大級のクルーズ船（22万トン級）の受け入れ可能な岸壁を整備するなど、観光振興に注力している。 一方で、高速ネットワークがなく、広域移動や定時性の確保が困難な日南市、串間市、志布志市においては、観光客数が伸び悩んでいる状況。
その他	

事業の有効性								
<ul style="list-style-type: none"> 当該事業の実施により、脆弱度の評価がDランク→Bランクに改善するとともに、災害時の防災機能が強化される。 また、本事業において、南海トラフ地震時の津波浸水域を回避し、災害時の救援活動等にも機能する信頼性の高い高速ネットワークを形成するとともに、宮崎県内有数の木材産地と物流拠点の志布志港を結ぶ重要な物流道路を形成し、地域の主要産業を支援する。また、油津港と連携した広域周遊観光ルートを形成し、観光振興を支援するなど、有効性の高い事業と評価する。 								
道路ネットワークの防災機能	主な区間	改善ペア数	脆弱度（防災機能ランク）		累積脆弱度の変化量	改善度		評価
			整備前	整備後		通常時	災害時	
	宮崎県庁	県立日南病院	8 〔3〕	1.00 (D) 〔1.00〕 (D)	0.22 (B) 〔0.28〕 (B)	▲139.92 〔▲22.81〕	0.21 〔0.08〕	0.88 〔1.00〕

事業の効率性	
<ul style="list-style-type: none"> 手続きの完了：都市計画決定（H28.1） 	

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は清武JCT～志布志IC（仮称）を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果